

## 第25回日空衛全国会議

一般社団法人 東北空調衛生工事業協会  
事務局長 鍵 茂



平成30年10月25日（木）徳島県徳島市「徳島グランヴィリオホテル」で、全国から約350人の会員が参加し、基本課題のテーマを「空調衛生工事業の独自性の確立」とし、「働き方改革の実現に向けて」をサブテーマとして第25回全国会議が開催されました。

式次第は次の通りです。

### 会 議

1. 会長挨拶 (一社) 日本空調衛生工事業協会 会長 長谷川 勉
2. 来賓挨拶 国土交通省四国地方整備局 局長 平井 英輝 様
3. 基調講演  
演題 「建設業の構造的問題と働き方改革」  
講師 芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授 蟹澤 宏剛 様
4. 事例発表
  - 1) 「魅力ある設備業界に向けて～経営者の変化が人を育てる」  
ルピナ中部工業（株） 代表取締役 柳沢 健一 様
  - 2) 「中小建設業の業態変革～精算プロセス改革による省力化」  
（株）ヤマト 企画推進部 主査 星野 圭佑 様



開会にあたり長谷川会長は「建設業に於ける働き方改革への取り組みは不可欠となっている。日空衛としてもこれから5年かけて、現場での週休2日を定着させ、長時間労働を是正していく」とし、更に「実現に向けては、適切な工期の設定やそれによって必要となってくる費用の請負代金への反映などについて、発注者の理解と協力が是非とも必要である」と訴えた。また、「発注時に於ける設計精度の向上についても各方面に要請を行っていかねなければならない」と決意を述べられました。



その後、芝浦工業大学の蟹澤教授から「建設業の構造的問題と働き方改革」という演題で講演がありました。その中で「このままでいくと2060年ぐらいには職人の数がいまの半分くらいになる。賃金水準の引き上げと休日を取得できる環境づくりによる担い手の確保が重要」と強調されました。その実現に向けて2019年に稼働を予定している建設キャリアアップシステムが果たす役割は大きいと説いておられました。

東北支部からは日空衛小野寺東北支部長、宮城空衛協庄司専務理事、秋田空衛協阿部会長、岩手空衛協菅原会長、青森空衛協阿保副会長、福島空衛協松原会長、山形空衛協黒澤副理事長、当協会から鍵、加藤が参加いたしました。来年は沖縄での開催が決定しております。会員皆様の参加を期待しております。

